



だんだんと暑い日が増え、汗ばむ季節になってきました。夏といえば日焼け対策や熱中症対策など、万全にしておきたいところですが、忘れていけないのが虫刺され対策。気温上昇に伴い虫たちの活動も活発になってきています。今回のどりいむ薬局通信では虫刺され対策についてお伝えしたいと思います。

虫刺されの症状は？



虫によってさまざまですが、人の血を吸う蚊・ノミ・ブユなどに刺されると痒みや腫れ、紅斑、水膨れ、しこりを作ることがあります。ハチやクモなどの虫に刺されると痛みがあります。いずれも異物への生体防御反応です。1週間ほどで良くなることがほとんどですが、かきむしったりするとそこから菌が体の中に入り、とびひやおできになることもあります。

～室内にいる虫～

★ダニ（イエダニ・ツメダニ）

ツメダニは他のダニの捕食の際に誤ってヒトを刺すことがあり、イエダニは吸血のために刺す。刺された後、痒みを伴う赤い発疹が生じる。主に布団・ソファ・カーペットなど



★ノミ

吸血後1～2日後から激しい痒みを伴う皮疹ができ、水膨れができることもある。掻き崩しによる二次感染からとびひを生じることもある。ペットから感染することが多い。猫・犬などに生息



～屋外にいる虫～

★毛虫（チャドクガの幼虫）

集団でコロニーを作って生息していて、微細な毒針毛を持ち、風で舞った毒針毛に触れると激しい痒みと蕁麻疹の様な症状が発生する。掻くと毒針毛が広がって炎症が悪化する。ツバキやサザンカなどの街路樹に生息



チャドクガ
大量発生中！

蚊は感染症を媒介することもあります！



★蚊（ヒトスジシマカ・アカイエカ）

アレルギー反応による痒みが出る。年齢・体質で症状に違いがあり、直後に痒みが出る人と時間がたって痒みが出る人がいる。蚊が媒介する感染症もある。朝・夕方の涼しい時間の屋外と夕方～夜の屋内に多い

★ブユ（ブヨ・ブト）

刺されて半日後から強い痒みが生じ、赤く腫れる。翌日には痒みは更に悪化することが多い。高原や溪流の水場のあるエリアに生息



～特に危険な虫～



場合によって、刺されると命に関わることもある虫です！気を付けてください！



マダニ



ハチ



セアカゴケグモ

ヒトの脇腹・太ももの皮膚に吸着し、数日～2週間に渡って吸血する。痛みや痒みなどの自覚症状がない。重症熱性血小板減少症候群や日本後半熱の様な重症な感染症の原因となる。山間部・河川敷の草地に生息

初めて刺された場合は激しい痛みと赤い腫れを生じ、1日程度で治る。2回目以降はハチ毒へのアレルギー反応が加わり、蕁麻疹・腹痛・呼吸困難が生じる。アナフィラキシー反応を起こす可能性がある。草花・樹木の多いところに生息

強い毒を持ち、咬まれた直後は軽い痛みでも後から強く痛みが増す場合もある。嘔吐・吐き気・発熱を伴う場合もある。公園のベンチや側溝に生息

予防・対策・治療については裏面にあります

どりいむ薬局では地域の健康サポート薬局として、日頃気になるお薬や健康について情報を発信していくために、どりいむ薬局通信を発行しています。ご不明な点がございましたら薬剤師にお声をおかけ下さい。



どりいむ薬局
長崎市千歳町10-2
TEL847-5297

予防・対策



蚊やダニなどは、刺された後に不快ばかりでなく、ウイルスや細菌による感染症を媒介することも知られています。虫刺されを予防するには、まず虫に刺されない工夫が必要です。

屋外では・・・

- 池や川の近く等の水辺、藪の中など、虫に刺されるリスクが高い場所での活動は極力避ける。
- 肌の露出を少なくする
- 長袖・長ズボンを着用する
- 足を完全に覆う靴を履く（サンダルなどは避ける）
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する



- ・用法・用量を守る
- ・肌に直接つけるタイプの場合は、一定時間毎に再塗布するのが効果的
- ・塗りむらがないようにまんべんなく塗布する
- ・日焼け止め、化粧などと併用する場合には、虫除けが一番外側になる様に塗布する

室内の虫の対策は・・・

(ツメダニ、イエダニ、ノミなど)

- 定期的に掃除をする
- 燻煙剤を活用する



《刺されたときの応急処置》

刺されたところを清潔にすることが大切です。患部をこすらず冷水で洗い、よく冷やします。

また体温が高くなるとかゆみも強まりますので、この時期の長風呂は避けてください。



毛虫

- 患部をこすると肌にのこった毒毛を広げてしまうことがあるので、粘着テープなどで毒毛を取り除いてから石鹸とシャワーで洗い流します
- 応急処置をした後は皮膚科を受診しましょう



蜂

- 蜂にさされて悪心、嘔吐、息苦しさ等の症状がでたら、ただちに医療機関を受診してください
- ハチに刺された時にアンモニア水が効くというのは意味が無く、むしろ有害ですので止めましょう



マダニ

- 吸血中のマダニを発見したら、自分で取るうとせず、医療機関で除去してもらいましょう。口の部分が体内に残ってしまうことがあり危険です
- 吸血中につまんだり、つぶしたりするのも厳禁です。マダニの体液の中の病原体が体内に逆流し、感染症を引き起こす可能性があります。

虫刺されの治療



軽症の場合：鎮痒成分を配合した外用剤を使用する

痒みや赤みが強い場合：ステロイド外用剤による治療が必要

ポイント：掻き壊してしまうと、ジュクジュクした傷になったり、そこから細菌感染を起こすことがあります。かゆみは我慢せず充分な強さのステロイド外用剤を使ってすみやかに炎症を抑えることが大切です。

※市販薬を5～6日間使用しても改善しない場合は、皮膚科の先生に診てもらいましょう



子どもの場合

対処法は大人と同じですが、子どもは掻くのを我慢することが難しく、水ぶくれを破ったり、掻き壊したりしてしまうことも少なくありません。掻き壊して化膿すると、とびひという感染症を引き起こすこともあります。患部が悪化して治りにくくなる前に、早めに治療しましょう

虫刺され痕が残らないように・・・

虫刺され痕をゴシゴシとこすったり、紫外線による日焼け等の刺激を与えたりすると、色素沈着が濃くなってしまふことがあるので、そのような刺激を与えないように気を付けましょう

出典：田辺三菱製薬 ヒフノコトサイト虫刺されの症状・治療法 <https://hc.mt-pharma.co.jp/hifunokoto/solution/702>

田辺三菱製薬 皮膚炎の知識①虫刺され

虫刺されチェック 東京2020 アース製薬 <https://www.earth.jp/tokyo2020/mushisasare-check/index.html>

東京大学 保健センター 虫よけ虫刺され対策 <http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/guide/internal-medicine/travel-clinic>

厚生労働省 今年もあなたの血を狙って奴らがやってくる！ <https://www.city.uji.kyoto.jp/uploaded/attachment/15670.pdf>